

ピユミちゃん、ストウーティー

相田 潤乃

わたしのかぞくは、ごにんかぞくです。おとうさんとおかあさんとおねえちゃんとわたしとピユミちゃんです。ピユミちゃんは、スリランカじんです。いま、わたしのうちにほーむすていしています。ピユミちゃんは、じゅうななさいです。こうこうさんねんせいで、うちでいちばんおきいおねえさんです。

ピユミちゃんは、にほんごがじょうずです。なので、わたしたちといっしょに、はなすことができます。ピユミちゃんによくあそんでもらいます。おてつだいもしてくれて、やさしいです。

わたしたちかぞくが、ピユミちゃんになにかをしてあげると「ありがとうございます」といいます。

「ごはんするとき、わたしがおはしをとってわたすと」「ありがとうございます」

おねえちゃんが、ピユミちゃんが、おとしたものをひろうと、また、こくごのじしよをかすと「ありがとう」

「おかあさんが、おべんとうをつくったり、まだしらないにほんごをおしえたりすると」「あり

がとうございます」

おとうさんが「さきにおふろにはいつていいよ」といったり、かぞくでおでかけしたあとには「おとうさん、きょうはつれていつてくれてありがとうございます。」とていねいにおれいをいいます。

かぞくみんなが、ピユミちゃんに、ちいさなことでもしんせつにすると、かならず「ありがとう」といいます。ピユミちゃんは、いちにちなんかいいいます。わたしは、ピユミちゃんにいわれてうれしいです。でも、そんなにいわなくてもいいのにとおもいます。

どうして、そんなに「ありがとう」というのか、ピユミちゃんにきいてみました。

「たとえば、ひろのちゃんに、おはしをとってもらうでしょ。わたしもすぐにおはしをとってあげると、おなじになるね。でも、いつもおなじことをするのはむずかしいね。だからかわりに、ありがとう」というの。それなら、できるでしょ。」

ピユミちゃんのにほんごのせつめいは、ほんとうにじょうずです。

わたしは、かぞくのなかでいちばんちいさいので、いろいろなことをやってもらいます。そのとき「ありがとう」といわないこともあります。ピユミちゃんのように、もつといわないといけない、「ありがとう」スリラシカのことばで「ありがとう」です。これからは、たくさん「ストゥーティー」「ありがとう」をいつてみようとおもいます。